

No.131
2019
1/10



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



利用者の声、届いていますか？

2019年ダイヤ改正に見送り要請

マスコミ報道によると諏訪地方6市町村と塩尻市、木曾地方6町村、東筑摩郡南部2村などの首長は7日、JR東日本長野支社に対して3月のダイヤ改正で諏訪地方4駅と塩尻駅に止まる特急「あずさ」の本数を減らすことに反対し、改正見送りなどを求める要請書を提出しました。首長らはあずさ停車本数の減少（塩尻5本減、岡谷4本減、下諏訪12本減、上諏訪2本減、富士見7本減）は観光、産業、住民の利便性などに重大な影響を及ぼすとし「事前に十分な協議もなく一方的に（ダイヤの）改正・公表に踏み切った」と批判しています。沿線市町村とは別に長野県も7日「地元の不安解消に努めること」などを求める要請書を提出、さらに長野県は要請書の中で「あずさ回数券」廃止に対して「利用者の不満が強い」と指摘しており、利用者のニーズに合わせたサービス提供の検討も求めています。

長野支社は「貴重なご意見として承った。今後も沿線の皆様の理解を得ながら、地元自治体と一緒に地域振興に努めたい」とコメントしていますが、記者会見に出席した下諏訪町長は「支社長からはご理解を頂きたいという一言のみで非常に残念」と述べています。

昨年12月20日には甲州・山梨・笛吹市の首長らもJR東日本や国土交通省などにあずさの停車駅現行維持を訴えて要望書を提出しています。



駅前に掲げられたのぼり旗

**改正＝不適當なところや不備な点を改める、です。
果たしてダイヤ“改正”になっているのでしょうか？**